

# 本の紹介 『ミライの授業』

霧島高等学校 学校図書補助員 八木 幸枝

昨年度、本校では『ガチャ本』と題したガチャガチャを設置しました。これは、本体を機械科の生徒が製作し、カプセルの中には図書委員が考えた今日の運勢と、おすすめ本の紹介を入れたものです。図書室に来るきっかけになり、新しい本を手に取り、本に親しみ、活字離れを少しでも食い止めたいと願い、導入されました。



本校に設置されているガチャ本とおすすめ本

環境への影響もあり、不読率は依然として高いです。

私たち大人は、子供たちの大きな可能性を信じ、豊かな未来を築いて欲しいと切に願っています。彼らのために何ができるか自問する日々なのではないでしょうか。

『学校は、未来と希望の工場である。』この本は、子供たちが自分自身を変え、幾多の困難を乗り越えていくための方法と具

体例が詰まっております。14歳向けとなっておりますが、ぜひ親子で読んで刺激を受けていただきたい一冊です。

かつて子供だった大人たちには、知識・経験が伴っています。子供たちが自分の可能性を広げ、素晴らしい未来を作り上げられるよう、背中を押し、見守る存在で居続けて欲しいと思います。